

Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成17年 4月28日 作成
平成19年 9月 1日 更新

BOX No.142404

車両情報

マツダ デミオ
平成17年4月～

DY系

1/2ページ

ES-89Light

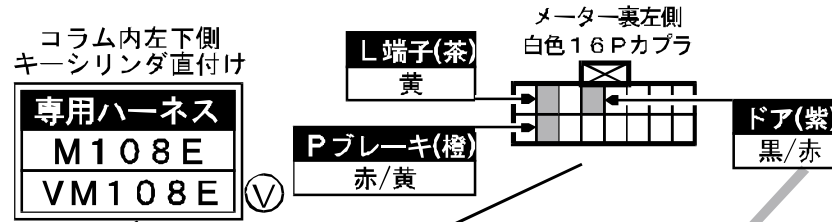
Type

N.L.

Opt.

※2/2ページの注意事項参照

① イモビライザー無し車のみ



① 運転席側カバー類の外し方

- ① 運転席側の、サイドステップカバーと、サイドカバーを外す。
- ② 小物入れ（ハンドルの下側）を外す。
- ③ コラムカバーを外す。（下側からネジ3本）
アドバンスキーレスエントリー付き車は、先にキーシリンダ部分のノブを、左右のボタンを押しながら外しておく。

※以下は、メーター裏に配線を行う場合のみ外す。

- ④ メーターフードを外す。（クリップ4箇所）
- ⑤ メーター本体を外す。（ネジ3本）

① ドアロック／アンロックの取り付けについては、2/2ページを参照してください。
アドバンスキーレスエントリーシステム付き／無しで、ドアロック／アンロックの取り付け方法が異なります。

A/T車設定が必要な行 ↓ のみ

(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

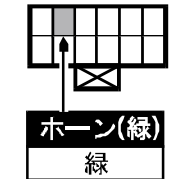
止めネジ等



①

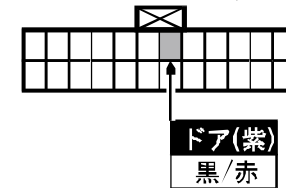
機能付き機種のみ配線

コラム内左下側
黄色12Pカプラ



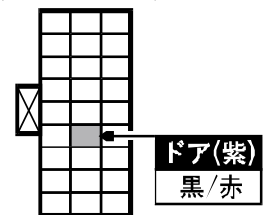
① アドバンスキーレス無し車

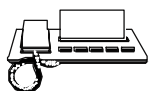
右上側の黒色ドアロックC/U
白色24Pカプラ



① アドバンスキーレス付き車

右側のキーレスC/U内
一番下側
灰色27Pカプラ





Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成17年 4月28日 作成
平成19年 9月 1日 更新

BOX No.142404

車両情報

マツダ デミオ

平成17年4月～

DY系

2/2ページ

① イモビライザー無し車のみ

ES-89Light

Type N.L.

Opt. ※2/2ページの注意事項参照

配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色

① 注意事項
アドバンストキーレスエントリーシステム付き/無しで、
取り付け方法が異なります。(別売オプション)

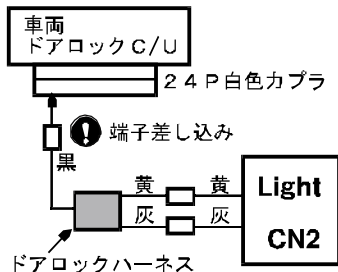
付き車…ドアロックリレーNLⅢ (EP070) が必要。
無し車…マツダ用ドアロックハーネス (EP087) が必要。



① アドバンストキーレス無し車

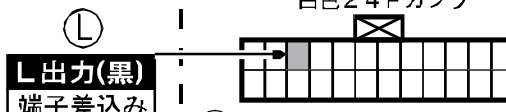
(ドアロック・アンロック)

① マツダ用ドアロックハーネス (別売) を使って配線します。
L出力(黒色線)は、右図の白色24Pカプラを外してから、指定した位置に端子を確実に差し込んでください。
(ディーラーオプションの手ぶらキーレス装着車は、既に差し込み先に配線があるので、端子を切断してエレクトロタップにて割込接続してください。)



① アドバンストキーレス無し車

右上側の黒色ドアロックC/U
白色24Pカプラ



① ハーネス側視

① アドバンストキーレス付き車

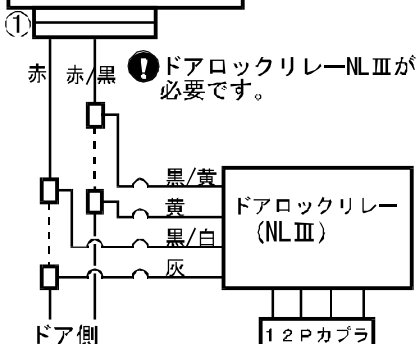
(ドアロック・アンロック)

右側のキーレスC/U内
一番上側
白色6Pカプラ



ドアロック(黒/白) 赤

車両
キーレスC/U側



---部は車両配線を
カットする

Light CN2へ

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、Ⓥの表示をしてあります。

左記の場合、VM108EがVAS対応品です。

②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しく下さい。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しく下さい。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。